

再評価結果（平成17年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課
担当課長名：鈴木克宗

| | | |
|--|---|---|
| 事業名 ：三遠南信自動車道 一般国道474号 佐久間道路・三遠道路 | 事業区分 ：一般国道 | 事業主体 ：国土交通省 中部地方整備局 |
| 起終点 ：自：静岡県磐田郡佐久間町川合 至：静岡県引佐郡引佐町東黒田 | | 延長 ：27.9km |
| 事業概要 ：三遠南信自動車道の佐久間道路・三遠道路は、奥三河と遠州を連絡し国土ネットワーク網の構築、安全で信頼性の確保、安心できる暮らし実現、連携強化に示する延長27.9kmの道路である。 | | |
| H 5年度事業化 | H 年度都市計画決定 (H 年度変更) | H 13年度用地着手 |
| 全体事業費 ：約1,400億円 | | 事業進捗率 ：9% |
| 計画交通量 ：11,400台/日 | | 供用済延長 ：0km |
| 費用対効果分析結果 | B / C (事業全体) 1.3 (残事業) 1.4 | 総費用 (残事業)/(事業全体) 1,052 / 1,118 億円 (事業費：936/1002億円) (維持管理費：116/116億円) |
| | | 総便益 (残事業)/(事業全体) 1,476 / 1,476 億円 (走行時間短縮便益：1308/1308億円) (走行費用減少便益：128/128億円) (交通事故減少便益：40/40億円) |
| 事業の効果等 | | |
| ・安全で安心できる暮らしの確保（聖隷三方原病院への搬送時間短縮、東栄町：100 55分） ・災害への備え（中央道・東名高速道路の代替道路として機能） | | |
| 他7項目に該当 | | |
| 関係する地方公共団体等の意見 | | |
| 三遠南信自動車道は、交流促進、高速交通サービスの提供、地域連携及び地域の開発発展に重要な役割を果たすことが期待されており、長野県をはじめとする関係2県9市42町の首長で構成される三遠南信道路建設促進期成同盟会より早期整備の要望（平成16年6月16日）を受けている。 | | |
| 事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 | | |
| 過疎化の進行、高齢化の進展 市町村合併が進展し、当該地域の連携を強化することが重要 | | |
| 事業の進捗状況、残事業の内容等 | | |
| 平成15年度より三遠トンネル工事に着手 平成13年度より用地買収に着手（進捗率：約83%） | | |
| 事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 | | |
| 平成19年度 鳳来IC～引佐JCT 開通予定（L=14.5km） 平成20年代半ば 佐久間IC～鳳来IC 開通予定（L=6.5km） | | |
| 施設の構造や工法の変更等 | | |
| 道路線形の見直し、インター構造の見直しを行いコスト縮減を図っている。 | | |
| 対応方針 | 事業継続 | |
| 対応方針決定の理由 | 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。 | |
| 事業概要図 | | |
| | | |

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。